

令和6年度後期高齢者医療特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 後期高齢者医療保険料	96,540	1 総 務 費	2,300
2 使用料及び手数料	3	2 後期高齢者医療広域連合納付金	128,045
3 国庫支出金	0	3 保健事業費	2,939
4 後期高齢者医療広域連合支出金	2,939	4 繰 出 金	1
5 繰 入 金	33,799	5 諸 支 出 金	31
6 繰 越 金	515	6 予 備 費	484
7 諸 収 入	4		
歳 入 合 計	133,800	歳 出 合 計	133,800

令和6年度後期高齢者医療特別会計 予算の概要

後期高齢者医療制度は、急速な少子高齢化が進む中、国民皆保険を守り、家族や社会のため長年尽くされた高齢者の方々が、安心して医療を受け続けられるようにするため、みんなで医療費を負担する支え合いのしくみです。

令和6年度の保険料率は、均等割額は49,412円、所得割率は9.56%です。

高齢者の健康寿命の延伸を目指して、後期高齢者医療広域連合からの委託事業である健康診査（ぎふ・すこやか健診）、口腔健診（ぎふ・さわやか口腔健診）の受診率の向上に努めます。

（歳入）

これまでの収入実績を勘案し、特別徴収63,530千円、普通徴収32,728千円を計上しました。滞納繰越分については、令和5年度滞納繰越額を282千円と見込みました。

一般会計繰入金については、事務費繰入金で11,038千円、保険基盤安定繰入金で20,110千円、保健事業費繰入金で2,651千円を計上しました。歳入予算は、保険料と繰入金が総額の97.41%を占めており、保健事業費委託金2,939千円、手数料、繰越金、諸収入として522千円を計上しました。

（歳出）

保健事業費として2,939千円を計上し、健診の案内送付等で、被保険者の疾病予防等に努めていきます。また、令和4年度から実施している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業については、令和6年度から一般会計にて事業を継続して行います。一般管理費については、1,692千円を計上しました。徴収費については608千円を計上しました。

後期高齢者医療広域連合納付金については、保険料負担金、事務費負担金、保健事業費負担金として合計128,045千円を計上しました。その他、一般会計繰出金、過年度保険料還付金及び予備費で516千円を計上しました。

歳入歳出それぞれ、133,800千円（対前年比10,800千円増、8.78%増）を当初予算に計上しました。